



2025年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年2月3日

上場会社名 小野薬品工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 4528 URL <https://www.ono-pharma.com/ja>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 滝野 十一
問合せ先責任者（役職名） 広報部長（氏名） 井村 竜太（TEL）（06）6263-5670
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	374,562	△3.9	70,754	△51.1	72,037	△51.1	56,533	△48.9	56,592	△48.8	60,357	△48.5
2024年3月期第3四半期	389,903	15.0	144,626	18.0	147,292	18.4	110,610	15.4	110,544	15.6	117,218	23.0

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益		コア営業利益		コア四半期利益		基本的1株当たり コア四半期利益	
	円	銭	円	銭	百万円	%	百万円	%	円	銭
2025年3月期第3四半期	120	49	120	42	97,654	△36.8	76,497	△38.1	162	87
2024年3月期第3四半期	229	08	229	06	154,590	—	123,557	—	256	04

（注）当社は2024年度より、本業での当社の業績をお示しするため、コア財務指標の開示を行います。

（2）連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円		百万円		百万円		%	
2025年3月期第3四半期	1,082,304		821,495		815,918		75.4	
2024年3月期	913,668		798,604		792,961		86.8	

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2024年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00	
2025年3月期	—	40.00	—			
2025年3月期（予想）				40.00	80.00	

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

IFRS（フル）ベース

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	485,000	△3.5	82,000	△48.7	81,500	△50.2	58,100	△54.6	58,000	△54.7	123	49

コアベース

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		コア営業利益		コア当期利益		基本的1株当たり コア当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	485,000	△3.5	110,000	△39.2	81,000	△43.2	172	46

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 12社 (社名) Deciphera Pharmaceuticals, Inc. およびその子会社11社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2025年3月期3Q	498,692,800株	2024年3月期	498,692,800株
2025年3月期3Q	28,984,945株	2024年3月期	29,045,346株
2025年3月期3Q	469,671,563株	2024年3月期3Q	482,561,180株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料5ページ「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当第3四半期の経営成績の概況	2
(2) 当第3四半期の財政状態の概況	4
(3) 当第3四半期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(企業結合)	12
(重要な後発事象)	13
4. 補足情報	14
(1) 主な製品の売上収益と予想	14
(2) 売上収益の内訳	14
(3) 地域別の売上収益に関する情報	14
(4) 開発品（がん領域）の主な進捗状況	15
(5) 開発品（がん領域以外）の主な進捗状況	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当第3四半期の経営成績の概況

①業績の概況【コアベース】

(単位：百万円)

	2024年3月期 第3四半期 連結累計期間	2025年3月期 第3四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上収益	389,903	374,562	△15,341	△3.9%
コア営業利益	154,590	97,654	△56,936	△36.8%
コア四半期利益	123,557	76,497	△47,060	△38.1%

【売上収益】

売上収益は、前年同期比153億円（3.9%）減少の3,746億円となりました。

・国内製品売上

抗悪性腫瘍剤「オプジーボ点滴静注」は、薬価引き下げの影響により、前年同期比189億円（16.5%）減少の960億円となりました。

糖尿病、慢性心不全および慢性腎臓病治療剤「フォシーガ錠」は、慢性腎臓病での使用が拡大したことにより、前年同期比112億円（19.5%）増加の687億円となりました。

その他の主要製品では、関節リウマチ治療剤「オレンシア皮下注」は208億円（前年同期比3.7%増）、2型糖尿病治療剤「グラクティブ錠」は147億円（同12.2%減）、抗悪性腫瘍剤「ベレキシブル錠」は82億円（同3.1%増）、多発性骨髄腫治療剤「カイプロリス点滴静注用」は69億円（同2.6%減）、血液透析下の二次性副甲状腺機能亢進症治療剤「パーサビブ静注透析用」は66億円（同2.8%増）、パーキンソン病治療剤「オンジェンティス錠」は60億円（同22.5%増）となりました。

・海外製品売上

デシフェラ社が販売する消化管間質腫瘍治療剤「キンロック」の売上（7-12月）は、173億円となりました。

・ロイヤルティ・その他

ロイヤルティ・その他は、前年同期にアストラゼネカ社との特許関連訴訟の和解に伴う一時金収入170億円を計上した反動減や、メルク社などからのロイヤルティ収入がロイヤルティ料率の低下に伴い減少し、前年同期比253億円（17.7%）減少の1,177億円となりました。

【コア営業利益】

コア営業利益は、前年同期比569億円（36.8%）減少の977億円となりました。

・売上原価は、前年同期比22億円（2.6%）減少の831億円となりました。

・研究開発費は、臨床試験に係る開発費用の増加やLigaChem Biosciences社との創薬提携契約に係る費用に加え、買収したデシフェラ社の研究開発に係る費用を計上したことなどにより、前年同期比269億円（35.1%）増加の1,034億円となりました。

・販売費及び一般管理費（研究開発費を除く）は、「フォシーガ錠」の売上拡大に伴うコ・プロモーション費用の増加に加え、買収したデシフェラ社の事業運営に係る費用を計上したことにより、前年同期比169億円（23.0%）増加の902億円となりました。

【コア四半期利益】

親会社の所有者に帰属するコア四半期利益は、前年同期比471億円（38.1%）減少の765億円となりました。

ご参考：業績の概況【IFRS（フル）ベース】

(単位：百万円)

	2024年3月期 第3四半期 連結累計期間	2025年3月期 第3四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上収益	389,903	374,562	△15,341	△3.9%
営業利益	144,626	70,754	△73,872	△51.1%
税引前四半期利益	147,292	72,037	△75,255	△51.1%
四半期利益 (親会社の所有者帰属)	110,544	56,592	△53,952	△48.8%

【売上収益】

売上収益は、コアベースの売上収益に記載のとおりです。

【営業利益】

営業利益は、前年同期比739億円（51.1%）減少の708億円となりました。

- ・売上原価は、前年同期に販売権の減損損失を54億円計上した反動減があった一方で、デシフェラ社買収に伴いキンロックに係る無形資産の償却費および公正価値評価された棚卸資産の費用化分を合計151億円計上したことなどにより、前年同期比73億円（7.6%）増加の1,027億円となりました。
- ・研究開発費は、臨床試験に係る開発費用が増加したこと、LigaChem Biosciences社との創薬提携契約に係る費用や開発化合物に係る無形資産の減損損失35億円を計上したことに加え、買収したデシフェラ社の研究開発に係る費用を計上したことなどにより、前年同期比306億円（40.0%）増加の1,071億円となりました。
- ・販売費及び一般管理費（研究開発費を除く）は、「フォシーガ錠」の売上拡大に伴うコ・プロモーション費用の増加に加え、買収したデシフェラ社の事業運営に係る費用およびデシフェラ社の買収に係る費用を計上したことにより、前年同期比204億円（27.9%）増加の937億円となりました。

【四半期利益】（親会社所有者帰属）

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、税引前四半期利益の減少に伴い、前年同期比540億円（48.8%）減少の566億円となりました。

(2) 当第3四半期の財政状態の概況

(単位：百万円)

	2024年3月期 連結会計年度末	2025年3月期 第3四半期 連結会計期間末	対前連結会計年度末 増減額
資産合計	913,668	1,082,304	168,636
親会社の所有者に帰属する持分	792,961	815,918	22,957
親会社所有者帰属持分比率	86.8%	75.4%	
1株当たり親会社所有者帰属持分	1,688.43円	1,737.12円	

資産合計は、前期末に比べ1,686億円増加の1兆823億円となりました。

流動資産は、その他の金融資産が減少する一方で、棚卸資産や売上債権及びその他の債権が増加したことなどから183億円増加の4,319億円となりました。

非流動資産は、その他の金融資産が減少する一方で、デシフェラ社買収に伴う無形資産の増加やのれんを計上したことなどから1,503億円増加の6,504億円となりました。

負債は、デシフェラ社買収の資金調達のために金融機関から借入を実施したことなどから1,457億円増加の2,608億円となりました。

親会社の所有者に帰属する持分は、剰余金の配当があった一方で、四半期利益の計上などから230億円増加の8,159億円となりました。

(3) 当第3四半期のキャッシュ・フローの概況

(単位：百万円)

	2024年3月期 第3四半期 連結累計期間	2025年3月期 第3四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額
現金及び現金同等物の期首残高	96,135	166,141	
営業活動によるキャッシュ・フロー	61,498	43,463	△18,036
投資活動によるキャッシュ・フロー	19,373	△152,111	△171,484
財務活動によるキャッシュ・フロー	△75,358	103,597	178,955
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,513	△5,052	
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響額	599	△106	
現金及び現金同等物の四半期末残高	102,247	160,982	

当第3四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の増減額は、51億円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人所得税等の支払額439億円などがあった一方で、税引前四半期利益720億円や減価償却費及び償却費182億円などがあった結果、435億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入2,033億円などがあった一方で、子会社の取得による支出3,648億円などがあった結果、1,521億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額365億円などがあった一方で、長期借入れによる収入1,500億円などがあった結果、1,036億円の収入となりました。

(4) 今後の見通し

通期の業績につきましては、2024年10月31日に発表いたしました業績予想から変更はございません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的なスタンダードに基づく財務情報の開示により比較可能性を向上させ、株主、投資家や取引先など様々なステークホルダーの皆さまの利便性をはかることを目的として、2014年3月期から国際会計基準（IFRS）を適用しております。

3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2024年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	166,141	160,982
売上債権及びその他の債権	136,066	152,211
有価証券	—	9,858
その他の金融資産	38,454	1,291
棚卸資産	48,629	77,621
その他の流動資産	24,306	29,962
流動資産合計	413,596	431,926
非流動資産		
有形固定資産	104,752	106,733
のれん	—	22,413
無形資産	57,288	354,792
投資有価証券	121,147	110,816
持分法で会計処理されている投資	115	121
その他の金融資産	173,113	7,885
繰延税金資産	40,863	43,011
その他の非流動資産	2,795	4,608
非流動資産合計	500,072	650,378
資産合計	913,668	1,082,304

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2024年12月31日)
負債及び資本		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	60,691	61,124
借入金	—	30,000
リース負債	2,310	3,005
その他の金融負債	2,273	5,516
未払法人所得税	22,093	2,220
その他の流動負債	16,257	19,973
流動負債合計	103,624	121,838
非流動負債		
借入金	—	112,500
リース負債	6,552	8,781
その他の金融負債	0	0
退職給付に係る負債	3,294	3,306
繰延税金負債	1,013	13,812
その他の非流動負債	580	571
非流動負債合計	11,439	138,971
負債合計	115,063	260,809
資本		
資本金	17,358	17,358
資本剰余金	17,458	17,458
自己株式	△63,233	△63,096
その他の資本の構成要素	53,194	52,589
利益剰余金	768,183	791,609
親会社の所有者に帰属する持分	792,961	815,918
非支配持分	5,644	5,577
資本合計	798,604	821,495
負債及び資本合計	913,668	1,082,304

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
要約四半期連結損益計算書

	(単位：百万円)	
	前第3四半期 連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上収益	389,903	374,562
売上原価	△95,462	△102,713
売上総利益	294,441	271,849
販売費及び一般管理費	△73,295	△93,739
研究開発費	△76,493	△107,072
その他の収益	979	776
その他の費用	△1,007	△1,060
営業利益	144,626	70,754
金融収益	3,120	4,139
金融費用	△458	△2,859
持分法による投資損益	4	3
税引前四半期利益	147,292	72,037
法人所得税	△36,682	△15,504
四半期利益	110,610	56,533
四半期利益の帰属：		
親会社の所有者	110,544	56,592
非支配持分	66	△59
四半期利益	110,610	56,533
1株当たり四半期利益：		
基本的1株当たり四半期利益(円)	229.08	120.49
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	229.06	120.42

要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期利益	110,610	56,533
その他の包括利益：		
純損益に振り替えられることのない項目：		
その他の包括利益を通じて測定する 金融資産の公正価値の純変動	6,728	456
確定給付制度の再測定	△79	△168
持分法適用会社のその他の包括利益を 通じて測定する金融資産の公正価値の 純変動に対する持分	△4	△1
純損益に振り替えられることのない 項目合計	6,645	286
純損益にその後に振り替えられる 可能性のある項目：		
その他の包括利益を通じて測定する 金融資産の公正価値の純変動	—	64
在外営業活動体の換算差額	1,000	3,837
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値 の純変動	△1,038	△364
純損益にその後に振り替えられる 可能性のある項目合計	△38	3,537
その他の包括利益合計	6,608	3,824
四半期包括利益合計	117,218	60,357
四半期包括利益合計の帰属：		
親会社の所有者	117,129	60,412
非支配持分	88	△55
四半期包括利益合計	117,218	60,357

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	利益剰余金	親会社の所有者に帰属する持分			
2023年4月1日残高	17,358	17,080	△54,161	51,701	709,890	741,869	5,944	747,812	
四半期利益					110,544	110,544	66	110,610	
その他の包括利益				6,586		6,586	22	6,608	
四半期包括利益合計	—	—	—	6,586	110,544	117,129	88	117,218	
自己株式の取得			△37,251			△37,251		△37,251	
自己株式の処分		△1	86			86		86	
剰余金の配当					△37,208	△37,208	△9	△37,217	
株式報酬取引		33				33		33	
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				△992	992	—		—	
所有者との取引額等合計	—	33	△37,165	△992	△36,216	△74,341	△9	△74,349	
2023年12月31日残高	17,358	17,113	△91,326	57,294	784,218	784,657	6,023	790,680	

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	利益剰余金	親会社の所有者に帰属する持分			
2024年4月1日残高	17,358	17,458	△63,233	53,194	768,183	792,961	5,644	798,604	
四半期利益					56,592	56,592	△59	56,533	
その他の包括利益				3,821		3,821	3	3,824	
四半期包括利益合計	—	—	—	3,821	56,592	60,412	△55	60,357	
自己株式の取得			△1			△1		△1	
自己株式の処分		△53	138			85		85	
剰余金の配当					△37,574	△37,574	△11	△37,585	
株式報酬取引		35				35		35	
利益剰余金から資本剰余金への振替		18			△18	—		—	
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				△4,426	4,426	—		—	
所有者との取引額等合計	—	—	137	△4,426	△33,166	△37,455	△11	△37,466	
2024年12月31日残高	17,358	17,458	△63,096	52,589	791,609	815,918	5,577	821,495	

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	147,292	72,037
減価償却費及び償却費	13,429	18,166
減損損失	5,447	3,510
受取利息及び受取配当金	△3,117	△4,043
支払利息	70	848
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,330	11,534
売上債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△34,696	△9,313
仕入債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△7,718	△6,455
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2	△229
未払消費税等の増減額(△は減少)	△3,614	△2,149
その他	△571	1,002
小計	115,195	84,910
利息の受取額	167	866
配当金の受取額	2,410	2,400
利息の支払額	△70	△848
法人所得税等の支払額	△56,203	△43,865
営業活動によるキャッシュ・フロー	61,498	43,463
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,270	△4,010
有形固定資産の売却による収入	869	4
無形資産の取得による支出	△7,023	△2,390
投資の取得による支出	△2,932	△1,974
投資の売却及び償還による収入	2,820	19,639
定期預金の預入による支出	△33,009	△991
定期預金の払戻による収入	63,009	203,281
子会社の取得による支出	—	△364,816
その他	△1,092	△854
投資活動によるキャッシュ・フロー	19,373	△152,111
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△36,152	△36,524
非支配持分への配当金の支払額	△9	△11
長期借入金の返済による支出	—	△7,500
長期借入れによる収入	—	150,000
リース負債の返済による支出	△1,946	△2,367
自己株式の取得による支出	△37,251	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△75,358	103,597
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,513	△5,052
現金及び現金同等物の期首残高	96,135	166,141
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響額	599	△106
現金及び現金同等物の四半期末残高	102,247	160,982

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループの事業は医薬品事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(企業結合)

当社は、米国のバイオ医薬品企業 Deciphera Pharmaceuticals, Inc. (以下「デシフェラ社」) との間で、買収のために新たに設立した完全子会社を通じて、現金を対価として同社を買収(以下「本買収」)することで合意し、2024年4月に契約を締結しました。この契約に基づき、2024年6月11日(米国東部時間)に同社の買収が完了し、同社を当社の完全子会社としました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の概要

被取得企業の名称	Deciphera Pharmaceuticals, Inc.
被取得企業の事業の内容	医薬品の研究開発、商業化

② 取得日

2024年6月11日(米国東部時間)

③ 取得した議決権付資本持分の割合

100%

④ 被取得企業の支配の獲得方法

現金を支払対価とする株式取得

⑤ 企業結合の主な理由

当社はグローバルスペシャリティファーマとして、独創的かつ革新的な新薬を世界に届けることを目指しています。中長期成長戦略である「パイプライン強化とグローバル開発の加速」および「欧米自販の実現」を見据え、医療ニーズの高いがんや免疫疾患、中枢神経疾患、スペシャリティ領域を重点研究領域に定め、医療現場に革新をもたらす新薬の創出に取り組んでいます。本買収により、がん領域における優れた研究開発能力と欧米でのコマーシャルケイパビリティを有するデシフェラ社をパートナー企業として迎え入れ、当社グループのパイプラインの拡充およびグローバル展開を加速させていきます。

デシフェラ社は、がんを対象とした革新的な医薬品の研究・開発・販売に注力しており、自社で創製した経口キナーゼ阻害剤からなる豊富なパイプラインを有しています。KIT阻害剤であるQINLOCK®(Ripretinib)は、イマチニブを含む3種類以上のキナーゼ阻害剤による治療を受けた成人の消化管間質腫瘍(GIST)患者に使用される薬剤として、米国、欧州および中国を含む40ヶ国以上で販売されています。加えて、CSF-1R阻害剤であるVimseltinibは髄滑膜巨細胞腫(TGCT)を対象とした第Ⅲ相臨床試験(MOTION study)において、主要評価項目およびその他副次的評価項目を統計学的有意に達成しており、欧米での申請を2024年に予定しています。また、デシフェラ社は、米国および主要な欧州諸国において自社での販売網を構築しており、この販売網はVimseltinibにおいても活用されます。

本買収により、当社は固形がん領域のパイプラインを拡充し、特にQINLOCK®とVimseltinibの獲得によって短中期的なグループの収益増加が期待できます。また、デシフェラ社の欧米での開発・販売能力を獲得し、欧米自販体制を強化できます。さらに、デシフェラ社の創薬能力を活用することで、当社グループのオンコロジー領域において研究開発のさらなる加速が期待できます。

(2) 取得日における取得資産、引受負債および支払対価の公正価値

(単位：百万円)

	当初の暫定的な 公正価値	修正額	修正後の 公正価値
現金及び現金同等物	15,433	-	15,433
売上債権及びその他の債権	6,729	-	6,729
有価証券	16,650	-	16,650
棚卸資産	4,478	37,339	41,816
有形固定資産	5,182	-	5,182
無形資産 (注) 2	-	315,036	315,036
投資有価証券	1,156	-	1,156
その他の資産	4,332	-	4,332
仕入債務及びその他の債務	△8,941	-	△8,941
リース負債	△3,890	-	△3,890
その他の負債	△5,790	249	△5,541
繰延税金負債	-	△19,566	△19,566
取得資産及び引受負債の公正価値 (純額)	35,338	333,059	368,396
ベースス・アジャストメント	1,886	-	1,886
のれん (注) 3	344,911	△322,088	22,822
為替換算調整勘定	-	△10,970	△10,970
合計	382,135	-	382,135
支払対価の公正価値の合計	382,135	-	382,135

- (注) 1. 当第3四半期連結会計期間末において、取得日における識別可能資産および負債の公正価値を算定し、支払対価の配分が完了しております。
 2. 無形資産は、製品に係る販売権および仕掛研究開発費であります。
 3. のれんの内容は、主に期待される将来の収益力に関連して発生したものであります。なお、認識されたのれんのうち、税務上損金算入が見込まれるものではありません。

(3) キャッシュ・フロー情報

(単位：百万円)

	金額
支払対価の公正価値の合計	382,135
被取得企業が保有する現金及び現金同等物	△15,433
ベースス・アジャストメント	△1,886
子会社の取得による支出	364,816

(4) 取得関連費用

3,382百万円

取得関連費用は、前連結会計年度および当第3四半期連結累計期間において連結損益計算書の「販売費及び一般管理費」に計上しております。

(5) 要約四半期連結損益計算書に与える影響

- ①当第3四半期連結累計期間の要約四半期連結損益計算書で認識されている取得日以降の被取得企業の売上収益および四半期利益

売上収益 17,633百万円
 四半期利益 (△は損失) △19,976百万円

なお、上記の四半期利益 (△は損失) には、取得日に認識した無形資産の償却費や公正価値評価された棚卸資産の費用化などが含まれております。

- ②企業結合が期首に実施されたと仮定した場合の当第3四半期連結累計期間の要約四半期連結損益計算書の売上収益および四半期利益に与える影響額

売上収益 26,077百万円
 四半期利益 (△は損失) △27,563百万円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 主な製品の売上収益と予想

(単位：億円)

製品名	2025年3月期 第3四半期連結累計期間						当連結会計年度				
	累計実績				前年同期比		前回 予想	前回予想 からの 修正額	修正 予想	前期比	
	4~6 月	7~9 月	10~12 月		増減額	増減率				増減額	増減率
オプジーボ点滴静注	321	306	333	960	△189	△16.5%	1,250		1,250	△205	△14.1%
フォシーガ錠	222	215	250	687	112	19.5%	890		890	129	16.9%
オレンシア皮下注	69	66	73	208	7	3.7%	270		270	12	4.5%
グラクティブ錠	50	46	50	147	△20	△12.2%	185		185	△27	△12.7%
ベレキシブル錠	27	25	30	82	3	3.1%	100		100	△2	△2.1%
カイクロリス点滴静注用	23	22	24	69	△2	△2.6%	95		95	4	3.9%
パーサビブ静注透析用	21	21	24	66	2	2.8%	85		85	3	3.3%
オンジェンティス錠	19	18	22	60	11	22.5%	75		75	12	18.8%
【海外】											
オプジーボ	31	34	35	100	9	10.2%	135		135	13	10.9%
キンロック		81	92	173			235	15	250		

- (注) 1. 国内製品商品は、仕切価格（出荷価格）ベースでの売上収益を開示しております。
2. 海外製品商品は、正味売上ベースでの売上収益を開示しております。

(2) 売上収益の内訳

(単位：億円)

	2024年3月期 第3四半期連結累計期間	2025年3月期 第3四半期連結累計期間
製品商品	2,469	2,569
ロイヤルティ・その他	1,430	1,177
合計	3,899	3,746

- (注) 「ロイヤルティ・その他」の中には、ブリストル・マイヤーズ スクイブ社からの「オプジーボ点滴静注」に係るロイヤルティ収入が、前第3四半期連結累計期間には739億円、当第3四半期連結累計期間には863億円、メルク社からの「Keytruda®」に係るロイヤルティ収入が、前第3四半期連結累計期間には389億円、当第3四半期連結累計期間には194億円、それぞれ含まれております。

(3) 地域別の売上収益に関する情報

(単位：億円)

	2024年3月期 第3四半期連結累計期間	2025年3月期 第3四半期連結累計期間
日本	2,402	2,323
米国	1,186	1,247
アジア	104	122
欧州	206	50
その他	—	4
合計	3,899	3,746

- (注) 1. 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。
2. 当第3四半期連結累計期間よりDeciphera Pharmaceuticals, Inc.の売上収益が計上されたことに伴い、地域別情報の区分を見直しました。

(4) 開発品（がん領域）の主な進捗状況

2025年1月24日現在

<申請中開発品>

*) : 共同研究により創出された化合物を含む

製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	地域	自社*) / 導入
オブジーボ点滴静注 /ニボルマブ	効能追加	肝細胞がん	注射	日本	自社 (Bristol・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
ヤーボイ点滴静注液* /イピリムマブ	効能追加	肝細胞がん	注射	日本	導入 (Bristol・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)

★ : 「オブジーボ」との併用試験

<臨床試験中開発品>

<オブジーボ>		*) : 共同研究により創出された化合物を含む				
製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	地域	ステージ	自社*) / 導入
オブジーボ点滴静注 /ニボルマブ	効能追加	肝細胞がん	注射	韓国	III	自社 (Bristol・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	膀胱がん	注射	日韓台	III	自社 (Bristol・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	ラブドイド腫瘍	注射	日本	II	自社 (Bristol・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	リヒター症候群*1	注射	日本	II	自社 (Bristol・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
<ヤーボイ>		*) : 共同研究により創出された化合物を含む				
製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	地域	ステージ	自社*) / 導入
ヤーボイ点滴静注液* /イピリムマブ	効能追加	胃がん	注射	日韓台	III	導入 (Bristol・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能追加	肝細胞がん	注射	韓国	III	導入 (Bristol・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)

★ : 「オブジーボ」との併用試験

2025年3月期第2四半期決算発表からの変更点

※1 : 「オブジーボ」について、日本で「リヒター症候群」を対象としたフェーズII試験を開始しました。リヒター症候群 (RT) は慢性リンパ性白血病から、びまん性大細胞型B細胞リンパ腫及びホジキンリンパ腫などに形質転換した病態と定義されます。RT発症後の予後は不良で薬事承認された薬剤はなくアンメットニーズの高い希少な疾患です。

※ : 「オブジーボ」と「ヤーボイ」との併用療法について、「尿路上皮がん」を対象とした国際共同試験の最終解析の結果、主要評価項目の一つであるシスプラチン不適応の集団における全生存期間 (OS) において、事前に規定した統計仮説を満たすことができなかつたため表から削除しました。

なお、がん領域の薬剤において、同じ予定効能 (がん腫) の場合は、最も進んでいるフェーズ (臨床ステージ) を記載しております。

<ONO-4538皮下注製剤> ※) : 共同研究により創出された化合物を含む						
製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	地域	ステージ	自社*) / 導入
ONO-4538HSC	新有効成分	固形がん	注射	日本	I	導入 (Bristol・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
<I-0関連> ※) : 共同研究により創出された化合物を含む						
製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	地域	ステージ	自社*) / 導入
ONO-4578*	新有効成分	胃がん／プロスタグランジン受容体 (EP4) 拮抗作用	錠	日韓台	II	自社
ONO-4482* (BMS-986016) /Relatlimab	新有効成分	悪性黒色腫 ／抗LAG-3抗体	注射	日本	I / II	導入 (Bristol・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
ONO-7427*	新有効成分	固形がん／抗CCR8抗体	注射	日本	I / II	導入 (Bristol・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
ONO-7475* /Tamnorzinib	新有効成分	膵がん ／Ax1/Mer阻害作用	錠	日本	I	自社
ONO-4578*	新有効成分	結腸・直腸がん ／プロスタグランジン受容体 (EP4) 拮抗作用	錠	日本	I	自社
	新有効成分	非小細胞肺がん ／同上	錠	日本	I	自社
ONO-7913* /マグロリマブ	新有効成分	膵がん／抗CD47抗体	注射	日本	I	導入 (ギリアド社)
	新有効成分	結腸・直腸がん／同上	注射	日本	I	導入 (ギリアド社)
ONO-7914*	新有効成分	固形がん／STINGアゴニスト	注射	日本	I	自社
ONO-7428**2	新有効成分	固形がん ／抗ONCOKINE-1抗体	注射	日本	I	導入 (NEX-I社)

★ : 「オブジーボ」との併用試験

2025年3月期第2四半期決算発表からの変更点

※2 : 抗ONCOKINE-1抗体「ONO-7428」について、日本で「固形がん」を対象としたフェーズ I 試験を開始しました。

※ : 抗LAG-3抗体「ONO-4482」と「オブジーボ」との併用療法について、「肝細胞がん」を対象とした国際共同試験を Bristol・マイヤーズ スクイブ社主導で実施しておりましたが、期待した有効性が確認できなかったため表より削除しました。

※ : プロスタグランジン受容体 (EP4) 拮抗薬「ONO-4578」について、日本で「膵がん」を対象としたフェーズ I 試験を実施していましたが、戦略上の理由により「膵がん」を対象とした開発を中止しました。

なお、がん領域の薬剤において、同じ予定効能 (がん腫) の場合は、最も進んでいるフェーズ (臨床ステージ) を記載しております。

<その他> *) : 共同研究により創出された化合物を含む						
製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	地域	ステージ	自社*) / 導入
QINLOCK /Ripretinib	効能 追加	消化管間質腫瘍 2次 KIT エキソン11+17/18 ／KIT阻害作用	錠	北南米、欧、 豪など	Ⅲ	自社 (デシフェラ社)
ONO-4059 /チラブルチニブ塩酸 塩	新有効 成分	中枢神経系原発リンパ 腫／BTK阻害作用	錠	米国	Ⅱ	自社
DCC-3116	新有効 成分	固形がん (Sotorasib併 用) ／ULK阻害作用	錠	米国	I / Ⅱ	自社 (デシフェラ社)
	新有効 成分	悪性腫瘍 (Ripretinib 併用) ／同上	錠	米国	I / Ⅱ	自社 (デシフェラ社)
DCC-3084	新有効 成分	悪性腫瘍 ／Pan-RAF阻害作用	錠	米国	I / Ⅱ	自社 (デシフェラ社)
DCC-3009 ^{※3}	新有効 成分	消化管間質腫瘍 ／Pan-KIT阻害作用	錠	米国	I / Ⅱ	自社 (デシフェラ社)
ONO-7475 /Tamnorzatinib	新有効 成分	EGFR遺伝子変異陽性非 小細胞肺癌 ／Ax1/Mer阻害作用	錠	日本	I	自社
ONO-4578	新有効 成分	ホルモン受容体陽性 HER2陰性乳がん／プロ スタグランジン受容体 (EP4) 拮抗作用	錠	日本	I	自社
ONO-4685	新有効 成分	T細胞リンパ腫 ／PD-1×CD3二重特異性 抗体	注射	日米	I	自社
ONO-7018	新有効 成分	非ホジキンリンパ腫、 慢性リンパ性白血病 ／MALT1阻害作用	錠	日米	I	導入 (コーディア社)
ONO-8250	新有効 成分	HER2陽性固形がん ／iPS細胞由来HER2 CAR-T細胞療法	注射	米国	I	自社 (フェイト社と共同開 発)

2025年3月期第2四半期決算発表からの変更点

※3 : Pan-KIT阻害薬「DCC-3009」について、米国で「消化管間質腫瘍」を対象としたフェーズ I / Ⅱ 試験を開始しました。

なお、がん領域の薬剤において、同じ予定効能（がん腫）の場合は、最も進んでいるフェーズ（臨床ステージ）を記載しております。

(5) 開発品(がん領域以外)の主な進捗状況

2025年1月24日現在

<申請中開発品>

*) : 共同研究により創出された化合物を含む

製品名/開発コード /一般名	区分	予定効能/薬理作用	剤型	地域	自社*)/導入
DCC-3014 /Vimseltinib	新有効成分	腱滑膜巨細胞腫 /CSF-1受容体阻害作用	錠	米欧	自社 (デシフェラ社)

<臨床試験中開発品>

*) : 共同研究により創出された化合物を含む

製品名/開発コード /一般名	区分	予定効能/薬理作用	剤型	地域	ステージ	自社*)/導入
ONO-2017 /Cenobamate	新有効成分	てんかん強直間代発作 /電位依存性ナトリウム電 流阻害/GABA _A イオンチャネ ル機能増強作用	錠	日本	III	導入 (エスケー社)
	新有効成分	てんかん部分発作 /同上	錠	日本	III	導入 (エスケー社)
ベレキシブル錠 /チラブルチニブ塩酸 塩	効能 追加	天疱瘡/BTK阻害作用	錠	日本	III	自社
ONO-2808	新有効成分	多系統萎縮症 /S1P5受容体作動作用	錠	日米	II	自社
DCC-3014 ^{*4} /Vimseltinib	新有効成分	慢性移植片対宿主病 /CSF-1受容体阻害作用	錠	米国	II	自社 (デシフェラ社)
ONO-2020 ^{*5}	新有効成分	アルツハイマー型認知症/ エピジェネティクス制御作 用	錠	日米	II	自社
	新有効成分	アルツハイマー型認知症に 伴うアジテーション/同上	錠	日本	II	自社
ONO-1110 ^{*6}	新有効成分	帯状疱疹後神経痛/内因性 カンナビノイド制御作用	錠	日本	II	自社
	新有効成分	線維筋痛症/同上	錠	日本	II	自社
	新有効成分	ハンナ型間質性膀胱炎 /同上	錠	日本	II	自社
	新有効成分	うつ病/同上	錠	日本	II	自社
	新有効成分	社交不安症/同上	錠	日本	II	自社
ONO-4685	新有効成分	自己免疫疾患 / PD-1×CD3二重特異性抗 体	注射	日欧	I	自社
ONO-4915	新有効成分	自己免疫疾患 / PD-1×CD19二重特異性抗 体	注射	日本	I	自社

2025年3月期第2四半期決算発表からの変更点

※4 : CSF-1受容体阻害薬「DCC-3014」について、米国で「慢性移植片対宿主病」を対象としたフェーズII試験を開始しました。

※5 : エピジェネティクス制御薬「ONO-2020」について、日米で「アルツハイマー型認知症」を対象としたフェーズII試験を、日本で「アルツハイマー型認知症に伴うアジテーション」を対象としたフェーズII試験をそれぞれ開始しました。

※6 : 内因性カンナビノイド制御薬「ONO-1110」について、日本で「帯状疱疹後神経痛」「線維筋痛症」「ハンナ型間質性膀胱炎」「うつ病」「社交不安症」を対象としたフェーズII試験をそれぞれ開始しました。

※ : シュワン細胞分化促進薬「ONO-2910」について、日本で「化学療法誘発末梢神経障害」を対象としたフェーズII試験を実施していましたが、期待された有効性が確認できなかったため、「化学療法誘発末梢神経障害」を対象とした開発を中止しました。